

2.

生活用品

PCR名称	PCR番号
●花き	PA-AW
●タオル製品	PA-BL
●一般照明用ランプ	PA-AT
●カーテンレール	PA-BT
●食器(陶磁器製品および合成樹脂製品)	PA-AQ
●消火器	PA-BA
●プラスチック製容器包装	PA-BC

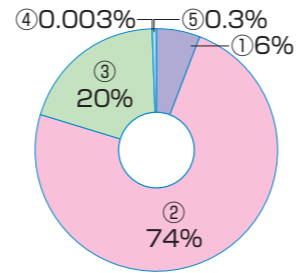
※PCR番号は版番号抜きのものです

備考

- カーボンフットプリントの検証を受けた製品より、エコプロダクツ2011出展製品を中心に各カテゴリー(用途)別に代表的製品を抜粋・ご紹介しています。全製品に関しましては、巻末収録「CFPマーク使用許諾製品一覧」をご覧ください。
- 2009年度と2010年度以降は、一部CFPの算定範囲が異なります。2009年度の「流通・販売段階」の中の「販売プロセス」について、2010年度以降は試行期間における暫定措置として除いています。
- 各製品の最下段「CO₂排出量割合」に関して、「最終製品」において「0%」と表記があるものは当該プロセスからの排出が「0」であることを示し、「中間材」において「-」と表記があるものは、当該プロセスを算定範囲に含んでいないことを示しています。

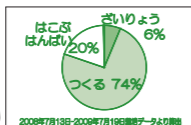
2. 生活用品

事業者名	有限会社メルヘンローズ	
対象製品名	メルヘンローズのバラ	最終製品
PCR名称・番号	花き	PA-AW-01
製品の概要 (検証：2009年度)	有限会社メルヘンローズが出荷するバラ1本あたり 08年7月13日-09年7月19日栽培データより算出	



961g
CO₂

カーボンフットプリント
試行事業
http://www.cfp-japan.jp
検証番号: CV-AW-001

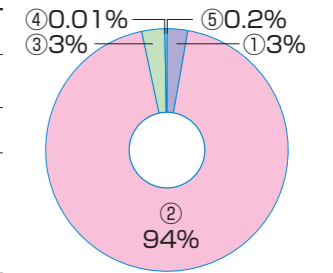


※表示の数字は
バラ1本あたりのCO₂排出量です。

ヒートポンプ使用率を上げ、重油から電気へエネルギーを移行し、CO₂排出量削減に努力している。

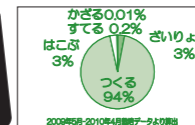
プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通・販売	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(g-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	6%	74%	20%	0.003%	0.3%	961g

事業者名	有限会社安彦園芸	
対象製品名	安彦園芸のバラ	最終製品
PCR名称・番号	花き	PA-AW-02
製品の概要 (検証：2010年度)	有限会社安彦園芸が出荷するバラ1本あたり 2009年5月から2010年4月栽培データより算出(1本あたり)	



1170g
CO₂

カーボンフットプリント
試行事業
http://www.cfp-japan.jp
検証番号: CV-AW02-002

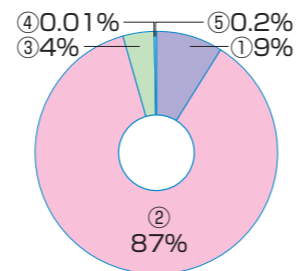


※表示の数字は
バラ1本あたりのCO₂排出量です。

ヒートポンプ使用率を上げ、重油から電気へエネルギーを移行し、CO₂排出量削減に努力している。

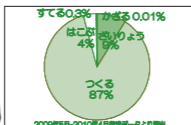
プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(Kg-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	3%	94%	3%	0.01%	0.2%	1.17kg

事業者名	荘花園	
対象製品名	荘花園のバラ	最終製品
PCR名称・番号	花き	PA-AW-02
製品の概要 (検証：2010年度)	荘花園が出荷するバラ1本あたり 2009年5月から2010年4月栽培データより算出(1本あたり)	



825g
CO₂

カーボンフットプリント
試行事業
http://www.cfp-japan.jp
検証番号: CV-AW02-001

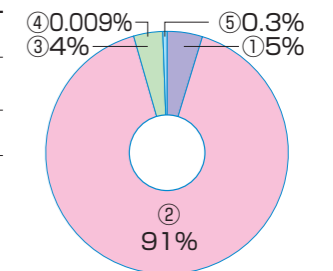


※表示の数字は
バラ1本あたりのCO₂排出量です。

ヒートポンプ使用率を上げ、重油から電気へエネルギーを移行し、CO₂排出量削減に努力している。1本あたり825gと現在算出されているバラ1本のCO₂排出量の中では一番小さい値となっている。

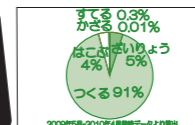
プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(g-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	9%	87%	4%	0.01%	0.2%	825g

事業者名	梶農園	
対象製品名	梶農園のバラ	最終製品
PCR名称・番号	花き	PA-AW-02
製品の概要 (検証：2010年度)	梶農園が出荷するバラ1本あたり 2009年5月から2010年4月栽培データより算出(1本あたり)	



910g
CO₂

カーボンフットプリント
試行事業
http://www.cfp-japan.jp
検証番号: CV-AW02-003



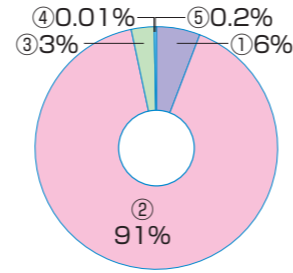
※表示の数字は
バラ1本あたりのCO₂排出量です。

ヒートポンプ使用率を上げ、重油から電気へエネルギーを移行し、CO₂排出量削減に努力している。宮城県名取市の津波の被害地域の生産者で、出荷を再開し、復興に向けさらに努力している。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(g-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	5%	91%	4%	0.009%	0.3%	910g

2. 生活用品

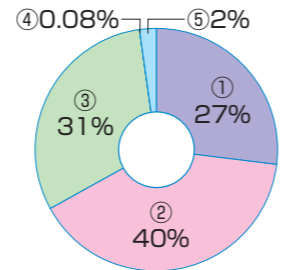
事業者名	有限会社プラン	
対象製品名	花プランのバラ	最終製品
PCR名称・番号	花き	PA-AW-02
製品の概要 (検証：2010年度)	有限会社花プランが出荷するバラ1本あたり 2009年5月から2010年4月栽培データより算出	



生産段階が大きく、その中でも、農園が北陸にあるため、暖房エネルギーが多く必要だが、ヒートポンプを使用し、電気使用率を上げている。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(g-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	6%	91%	3%	0.01%	0.2%	1170g

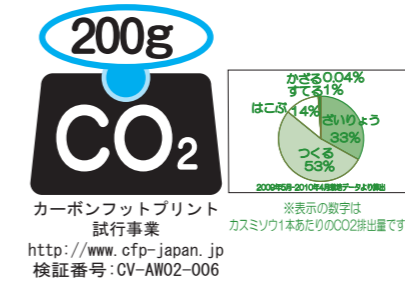
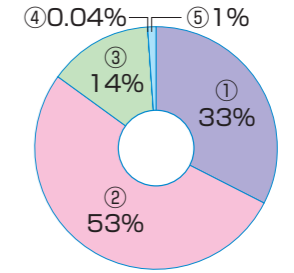
事業者名	みなべいなみ農業協同組合	
対象製品名	JAみなべいなみMPS研究会の花 スターチス	最終製品
PCR名称・番号	花き	PA-AW-02
製品の概要 (検証：2010年度)	JAみなべいなみMPS研究会会員が出荷する花 2009年5月～2010年4月栽培データより算出 スターチス1本あたり	



23名のMPS研究会会員のデータから算出したCO₂排出量であり、メンバー一人一人が協力してCO₂排出量の削減に努力しています。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(g-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	27%	40%	31%	0.08%	2%	103g

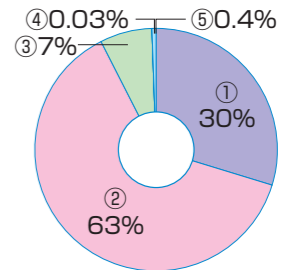
事業者名	みなべいなみ農業協同組合	
対象製品名	JAみなべいなみMPS研究会の花 カスミソウ	最終製品
PCR名称・番号	花き	PA-AW-02
製品の概要 (検証：2010年度)	JAみなべいなみMPS研究会会員が出荷する花 2009年5月～2010年4月栽培データより算出 カスミソウ1本あたり	



23名のMPS研究会会員のデータから算出したCO₂排出量であり、メンバー一人一人が協力してCO₂排出量を下げのために努力しました。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(g-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	33%	53%	14%	0.04%	1%	200g

事業者名	みなべいなみ農業協同組合	
対象製品名	JAみなべいなみMPS研究会の花 カーネーション	最終製品
PCR名称・番号	花き	PA-AW-02
製品の概要 (検証：2010年度)	JAみなべいなみMPS研究会会員が出荷する花 2009年5月～2010年4月栽培データより算出 カーネーション1本あたり	

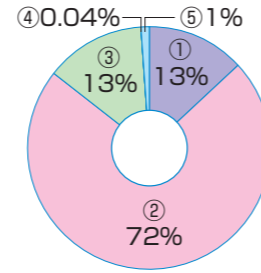


生産段階が大きいですが、その中でも重油のCO₂排出量が多い。重油だけでなく電気も使用しCO₂排出量の削減に努めている。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(g-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	30%	63%	7%	0.03%	0.4%	273g

2. 生活用品

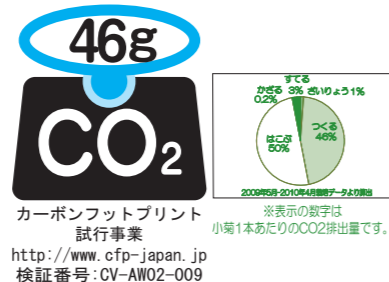
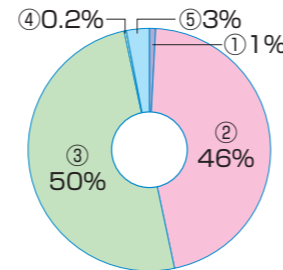
事業者名	みなべいなみ農業協同組合	
対象製品名	JAみなべいなみMPS研究会の花 スイートピー	最終製品
PCR名称・番号	花き	PA-AW-02
製品の概要 (検証：2010年度)	JAみなべいなみMPS研究会会員が出荷する花 2009年5月～2010年4月栽培データより算出 スイートピー 1本あたり	



生産段階が大きい、「燃料」の燃焼の占める値が大きくなっていく。電気も使用することでCO₂排出量削減に努力している。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(g-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	13%	72%	13%	0.04%	1%	190g

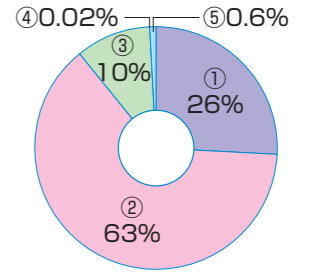
事業者名	みなべいなみ農業協同組合	
対象製品名	JAみなべいなみMPS研究会の花 小菊	最終製品
PCR名称・番号	花き	PA-AW-02
製品の概要 (検証：2010年度)	JAみなべいなみMPS研究会会員が出荷する花 2009年5月～2010年4月栽培データより算出 小菊1本あたり	



1本あたり49gと現在算出されている切花1本のCO₂排出量の中では一番小さい値となっている。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(g-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	1%	46%	50%	0.2%	3%	46g

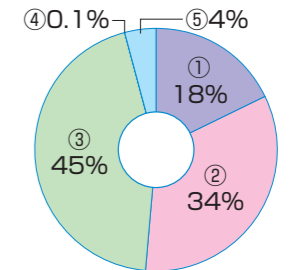
事業者名	みなべいなみ農業協同組合	
対象製品名	JAみなべいなみMPS研究会の花 キンギョソウ	最終製品
PCR名称・番号	花き	PA-AW-02
製品の概要 (検証：2010年度)	JAみなべいなみMPS研究会会員が出荷する花 2009年5月～2010年4月栽培データより算出 キンギョソウ1本あたり	



流通時に通い箱を使用することでCO₂排出量削減を図っている。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(g-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	26%	63%	10%	0.02%	0.6%	336g

事業者名	みなべいなみ農業協同組合	
対象製品名	JAみなべいなみMPS研究会の花 ストック	最終製品
PCR名称・番号	花き	PA-AW-02
製品の概要 (検証：2010年度)	JAみなべいなみMPS研究会会員が出荷する花 2009年5月～2010年4月栽培データより算出 ストック1本あたり	

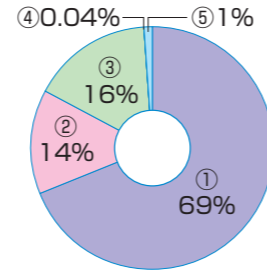


同農協MPS研究会の花が出荷する、小菊の46gにつづき、現在算出されている切花の中ではCO₂排出量が、2番目に少なくなっている。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(g-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	18%	34%	45%	0.1%	4%	57g

2. 生活用品

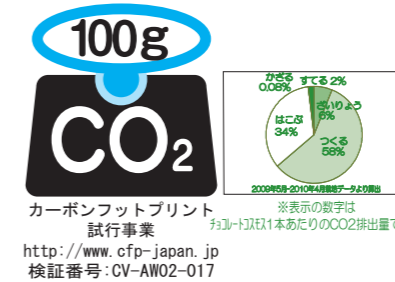
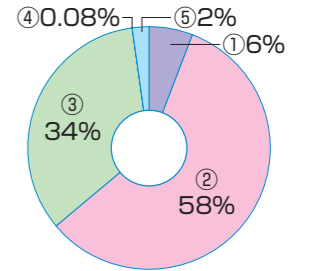
事業者名	みなべいなみ農業協同組合	
対象製品名	JAみなべいなみMPS研究会の花 スカビオーサ	最終製品
PCR名称・番号	花き	PA-AW-02
製品の概要 (検証：2010年度)	JAみなべいなみMPS研究会会員が出荷する花 2009年5月～2010年4月栽培データより算出 スカビオーサ1本あたり	



流通時に通い箱を使用することでCO₂排出量削減を図っている。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(g-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	69%	14%	16%	0.04%	1%	187g

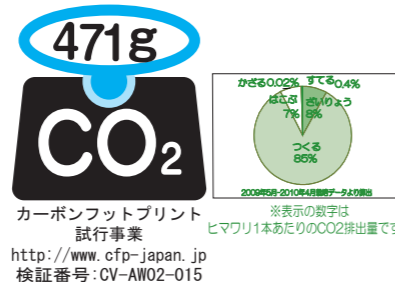
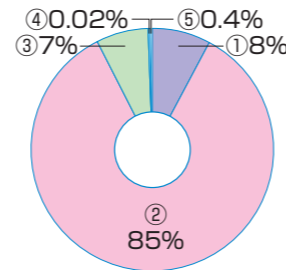
事業者名	みなべいなみ農業協同組合	
対象製品名	JAみなべいなみMPS研究会の花 チョコレートコスモス	最終製品
PCR名称・番号	花き	PA-AW-02
製品の概要 (検証：2010年度)	JAみなべいなみMPS研究会会員が出荷する花 2009年5月～2010年4月栽培データより算出 チョコレートコスモス1本あたり	



流通時に通い箱を使用することでCO₂排出量削減を図っている。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(g-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	6%	58%	34%	0.08%	2%	100g

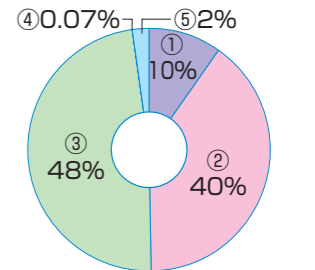
事業者名	みなべいなみ農業協同組合	
対象製品名	JAみなべいなみMPS研究会の花 ヒマワリ	最終製品
PCR名称・番号	花き	PA-AW-02
製品の概要 (検証：2010年度)	JAみなべいなみMPS研究会会員が出荷する花 2009年5月～2010年4月栽培データより算出 ヒマワリ1本あたり	



流通時に通い箱を使用することでCO₂排出量削減を図っている。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(g-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	8%	85%	7%	0.02%	0.4%	471g

事業者名	みなべいなみ農業協同組合	
対象製品名	JAみなべいなみMPS研究会の花 ダリア	最終製品
PCR名称・番号	花き	PA-AW-02
製品の概要 (検証：2010年度)	JAみなべいなみMPS研究会会員が出荷する花 2009年5月～2010年4月栽培データより算出 ダリア1本あたり	



流通時に通い箱を使用することでCO₂排出量削減を図っている。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(g-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	10%	40%	48%	0.07%	2%	118g

2. 生活用品

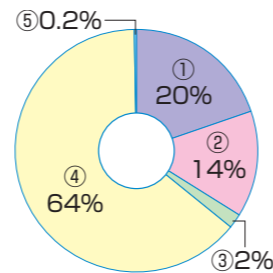
泉州タオル

事業者名	大阪タオル工業組合・株式会社やわらぎ	
対象製品名	泉州タオル：グリーンクラブ加工白フェイスタオルGC220	最終製品
PCR名称・番号	タオル製品	PA-BL-03
製品の概要 (検証：2011年度)	原材料：綿100%、サイズ：34cm×85cm、重量：約68.75g、後晒工程でグリーンクラブ加工(天然のり・酵素糊抜き) 販売単位(1枚あたり)	



家庭洗濯：
「洗濯回数 183回」
原材料調達～生産～
流通段階では、
0.56kg-CO₂e/枚

- ▶国内タオル製造産地として、人と環境に優しく安心・安全なタオルの製造を目指しています。
- ▶化学のりから天然糊に替えるなど化学薬品の使用を極力控えています。



プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(kg-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	20%	14%	2%	64%	0.2%	1.59kg

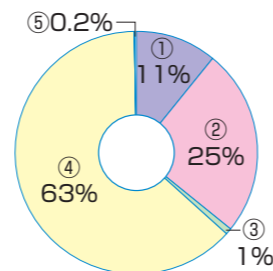
KE

事業者名	倉敷繊維加工株式会社	
対象製品名	プロ・タッチKM179	最終製品
PCR名称・番号	タオル製品	PA-BL-03
製品の概要 (検証：2011年度)	製品サイズ：約34cm×90cm、製品重量：1枚あたり約51.6g(綿100%)、染色・晒加工等をした綿糸を使用した業務用のふきん(50枚あたり約2.58kg) 算定単位：販売単位である50枚あたり	



想定使用回数：業務
洗濯 50回
自家操業 乾燥機使用

- CFPIに取組む目的：
CFPを通じて日常使用している「ふきん」のライフサイクルを調査、CO₂排出量を把握する。



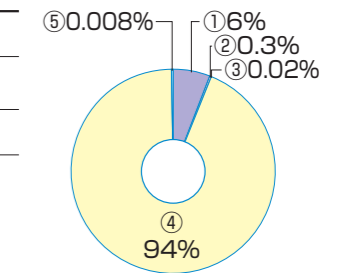
プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(kg-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	11%	25%	1%	63%	0.2%	99.0kg

AEON

事業者名	イオン株式会社	
対象製品名	トップバリュ共環宣言 LED電球 昼白色	最終製品
PCR名称・番号	一般照明用ランプ	PA-AT-02
製品の概要 (検証：2010年度)	消費電力6.5W 定格寿命4万時間 製品本体重量68g E26口金タイプ	



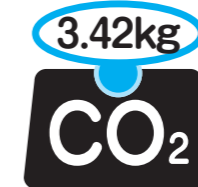
「つくる」
%
つかう
ずてる



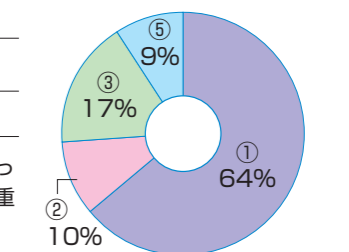
プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(kg-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	6%	0.3%	0.02%	94%	0.008%	133kg

TOSO

事業者名	トーソー株式会社	
対象製品名	カーテンレール E202	最終製品
PCR名称・番号	カーテンレール	PA-BT-01
製品の概要 (検証：2010年度)	●カーテンを2列掛けられるよう、2本のレール(ダブル)と各部品がセットになった商品 ●対応サイズは2m(1間窓用)の伸縮タイプ ●1セットあたりの製品重量は831g	



- ▶カーテンレールE202は、最も原材料のムダがない「C型」の表面形状シルエットを採用し、機能性と環境負荷への配慮を両立させています。



プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(kg-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	64%	10%	17%	0%	9%	3.42kg

1 食品関連

2 生活用品

3 衣料関連品

4 印刷関連

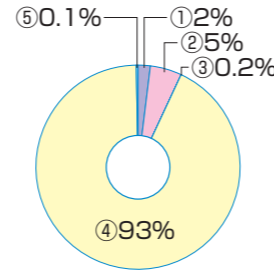
5 オフィス関連

6 土木・建築関連

7 その他産業用

Sanshin

事業者名	三信化工株式会社	
対象製品名	ポリプロトレイ	最終製品
PCR名称・番号	食器(陶磁器製品および合成樹脂製品)	PA-AQ-01
製品の概要 (検証: 2009年度)	学校給食用食器(ポリプロピレン樹脂製 トレイ) 352×268×18 重量240g 一枚あたり(包装含む)	



カーボンフットプリント試行事業
http://www.cfp-japan.jp
検証番号: CV-AQ-001

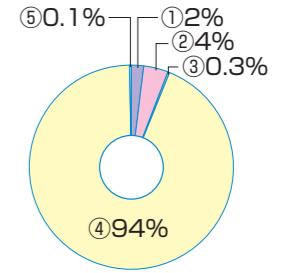
使用区分: 業務用トレイ
素材: ポリプロピレン
想定使用回数: 1,000回
1回あたりのCO₂排出量:
0.030kg (洗浄を含む)

- ▶ 繰り返し使うため、CO₂排出量が見た目では大きくなります。(1000回使用あたり30.5kg)
- ▶ 一見とても大きく見えますが、使用1回あたりで考えるとCO₂排出量は0.03kgになります。
- ▶ 洗浄乾燥に関わる部分が約9割です。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通・販売	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(kg-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	2%	93%	0.2%	0%	0.1%	30.5kg

Sanshin

事業者名	三信化工株式会社	
対象製品名	パワーセラハイセクション YBH771 (下絵)	最終製品
PCR名称・番号	食器(陶磁器製品および合成樹脂製品)	PA-AQ-02
製品の概要 (検証: 2011年度)	学校給食用食器(強化磁器 飯椀) Φ132×54 重量171g 容量370ml 一枚あたり(包装含む)	



CO₂の「見える化」
カーボンフットプリント
http://www.cfp-japan.jp
検証番号: CV-AQ02-045

使用区分: 業務用食器
素材: 強化磁器
製品の想定使用回数: 1,000回
1,000回使用した場合のCO₂排出量: 13.1kg (洗浄等を含む)
1回使用あたりのCO₂排出量:
13.1g (洗浄等を含む)

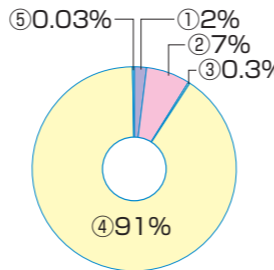
2011年に検証を受けた製品イングレース製法(検証番号 CV-AQ02-028)と比較した場合のCO₂削減率: 2.74%
原料調達段階から生産段階までのCO₂削減率: 31.8% (生産段階において焼成回数を減らすことにより削減)

- ▶ 高温焼成を1回減らした絵付け技法を使う事でCO₂排出量が少なくなり、全体で2.74%削減されました。
- ▶ 繰り返し使うため、CO₂排出量は一見とても大きく見えますが、使用1回で考えると13.1gになります。洗浄乾燥に関わる部分が約9割です。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(kg-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	2%	94%	0.3%	0%	0.1%	13.1kg

Sanshin

事業者名	三信化工株式会社	
対象製品名	パワーセラハイセクション YBH771 (リサイクル)	最終製品
PCR名称・番号	食器(陶磁器製品および合成樹脂製品)	PA-AQ-02
製品の概要 (検証: 2011年度)	学校給食用食器(強化磁器 飯椀) Φ132×54 重量171g 容量370ml 一枚あたり(包装含む)	



CO₂の「見える化」
カーボンフットプリント
http://www.cfp-japan.jp
検証番号: CV-AQ02-044

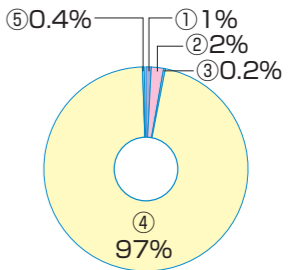
使用区分: 業務用食器
素材: 強化磁器 (リサイクル材を15%以上使用)
廃棄製品は回収の後、リサイクルを前提
製品の想定使用回数: 1,000回
1,000回使用した場合のCO₂排出量: 13.5kg (洗浄等を含む)
1回使用あたりのCO₂排出量: 13.5g (洗浄等を含む)
2011年に検証を受けた製品イングレース製法(検証番号 CV-AQ02-028)と比較した場合のCO₂削減率: 0.155% (原料調達、廃棄・リサイクル段階を通じ、リサイクルを行うことにより削減)

- ▶ 回収した食器を15%以上リサイクルする事で、一般的な製品よりCO₂排出量が0.155%削減されました。
- ▶ 繰り返し使うため、CO₂排出量は一見とても大きく見えますが、使用1回で考えると13.5gになります。洗浄乾燥に関わる部分が約9割です。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(kg-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	2%	91%	0.3%	0%	0.03%	13.5kg

朝日化工株式会社

事業者名	朝日化工株式会社	
対象製品名	キッズメイト(R) リサイクルPETトレイ RPTA-3527	最終製品
PCR名称・番号	食器(陶磁器製品および合成樹脂製品)	PA-AQ-02
製品の概要 (検証: 2010年度)	学校給食用トレイ(手付長角トレイ) 0.347m×0.267m×H0.0165m 0.289kg	



カーボンフットプリント
試行事業
1回使用あたり
http://www.cfp-japan.jp
検証番号: CV-AQ02-010

使用区分: 業務用食器
素材: PET樹脂 (リサイクル材を75%使用)
製品の想定使用回数: 1,000回 (洗浄に係るプロセスを含む)
1,000回使用した場合のCO₂排出量: 26.5kg
廃棄製品は回収の後、リサイクルを想定

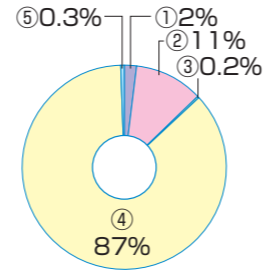
- ▶ リサイクルPET樹脂を75%以上使用し、ガラス繊維の補強なしで丈夫なトレイを作ることになりました。
- ▶ 使用済み製品は、ガラス繊維を含まないので回収の後に安全に粉碎でき、他の用途にリサイクル利用します。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(kg-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	1%	97%	0.2%	0%	0.4%	26.5kg

2. 生活用品

朝日化工株式会社

事業者名	朝日化工株式会社	
対象製品名	キッズメイト(R) リサイクル強化磁器食器 13.2cm水切りボール	最終製品
PCR名称・番号	食器(陶磁器製品および合成樹脂製品)	PA-AQ-02
製品の概要 (検証: 2010年度)	学校給食用食器(強化磁器 ボール)径0.132m×高さ0.054m 0.155kg (リサイクル材を16%使用)	



14.1g
CO₂

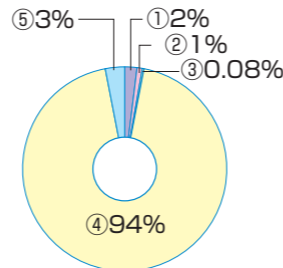
カーボンフットプリント
試行事業
1回使用あたり
<http://www.cfp-japan.jp>
検証番号: CV-AQ02-011

- ・使用区分: 業務用食器
- ・製品の想定使用回数: 1,000回(洗浄に係るプロセスを含む)
- ・1,000回使用した場合のCO₂排出量: 14.1kg
- ・素材: 強化磁器(リサイクル材を16%使用)
- ・廃棄製品は回収の後、リサイクルを想定

- ▶ 回収して粉砕した使用済み陶磁器を16%以上使用して、丈夫な強化磁器食器を作ることになりました。
- ▶ 使用済み製品は回収の後に粉砕して陶土に混ぜ、強化磁器食器として繰り返しリサイクル利用します。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(kg-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	2%	11%	0.2%	87%	0.3%	14.1kg

事業者名	国際化工株式会社	
対象製品名	NP55 34cm PPトレイ	最終製品
PCR名称・番号	食器(陶磁器製品及び合成樹脂製品)	PA-AQ-02
製品の概要 (検証: 2010年度)	製品重量255g(包装材を含まない)、 サイズ: 縦342mm×横260mm×高18mm 学校給食用ポリプロピレン製トレイ	



28.4g
CO₂

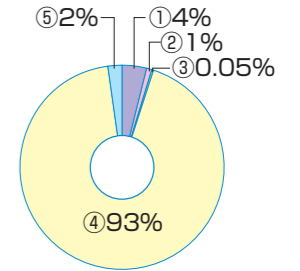
カーボンフットプリント
試行事業
1回使用あたり
<http://www.cfp-japan.jp>
検証番号: CV-AQ02-012

- ・使用区分: 業務用食器(トレイ)
- ・素材: ポリプロピレン樹脂
- ・製品の想定使用回数: 1,000回
- ・1,000回使用した場合のCO₂排出量: 28.4kg(洗浄・乾燥を含む)

- ▶ 繰り返し使用するトレイのため、使用段階の割合が大きくなります。このため、使用時の省エネが重要になります。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(kg-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	2%	1%	0.08%	94%	3%	28.4kg

事業者名	国際化工株式会社	
対象製品名	J13 13cmボール	最終製品
PCR名称・番号	食器(陶磁器製品及び合成樹脂製品)	PA-AQ-02
製品の概要 (検証: 2010年度)	製品重量83g(包装材を含まない)、サイズ: 直径130mm×高55mm 学校給食用メラミン製ボール(ホイル仕様)	



13.2g
CO₂

カーボンフットプリント
試行事業
1回使用あたり
<http://www.cfp-japan.jp>
検証番号: CV-AQ02-013

- ・使用区分: 業務用食器(ボール: ホイル仕様)
- ・素材: メラミン樹脂
- ・製品の想定使用回数: 1,000回
- ・1,000回使用した場合のCO₂排出量: 13.2kg(洗浄・乾燥を含む)

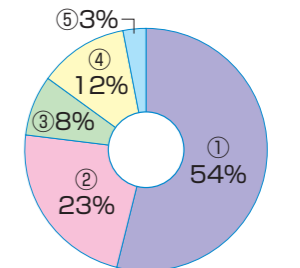
- ▶ 繰り返し使用する食器のため、使用段階の割合が大きくなります。このため、使用時の省エネが重要になります。

マルケイ

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(kg-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	4%	1%	0.05%	93%	2%	13.2kg

HATSUTA

事業者名	株式会社 初田製作所	
対象製品名	蓄圧式粉末消火器	最終製品
PCR名称・番号	消火器	PA-BA-02
製品の概要 (検証: 2010年度)	スチール製蓄圧式粉末<ABC>消火器10型 販売単位(1本あたり)の製品の重量5.25kg(梱包材含む)	



15.9kg
CO₂

カーボンフットプリント試行事業
<http://www.cfp-japan.jp>
検証番号: CV-BA02-001

- ▶ 消火薬剤の原料にリサイクル材を使用

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(kg-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	54%	23%	8%	12%	3%	15.9kg

1 食品関連

2 生活用品

3 衣料関連

4 印刷関連

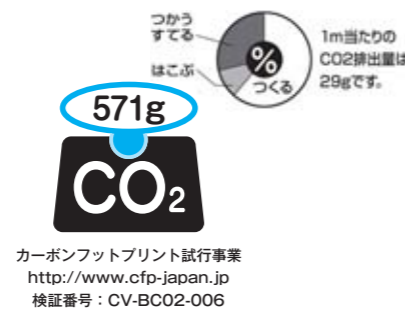
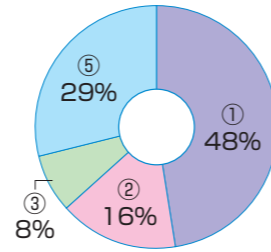
5 オフィス関連

6 土木・建築関連

7 その他産業用

2. 生活用品

事業者名	日本生活協同組合連合会	
対象製品名	CO・OP 電子レンジにも強いラップ 30cm×20m	最終製品
PCR名称・番号	プラスチック製容器包装	PA-BC-02
製品の概要 (検証：2010年度)	原材料名：ポリメチルペンテン 幅30cm×長さ20m、耐熱温度：180℃、耐寒温度：-30℃	

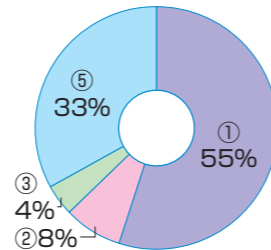


- ▶ ラップフィルム由来のCO₂排出量が多くを占めるものの、外箱や紙芯によるCO₂排出量も一定量あり、ラップフィルムだけでなく外箱や紙芯の改善によるCO₂排出量の削減余地もある。
- ▶ 1m当たりのCO₂排出量は長さが長いラップの方が小さい。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(g-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	48%	16%	8%	0%	29%	571g

日立化成フィルテック株式会社

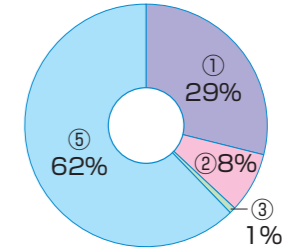
事業者名	日立化成フィルテック株式会社	
対象製品名	家庭用ヒタチラップ 30cm×20m	最終製品
PCR名称・番号	プラスチック製容器包装	PA-BC-02
製品の概要 (検証：2011年度)	品名 食品包装用ラップフィルム 原材料名 塩化ビニル樹脂 重量64g(ラップフィルム)	



- ▶ 炭素(C)の重量寄与率が小さい樹脂の使用。
- ▶ 薄くてもパフォーマンスに優れた材料の使用によるCO₂発生量の削減

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(g-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	55%	8%	4%	0%	33%	345g

事業者名	日本フィルム株式会社	
対象製品名	東京都東村山市 家庭用指定収集袋(燃やせるごみ)	最終製品
PCR名称・番号	プラスチック製容器包装	PA-BC-02
製品の概要 (検証：2010年度)	0.03mm×650mm×750mm(40L) 10枚巻 重量272.15g：(ごみ袋) 269.4g+(紙ラベル包装) 2.75g	

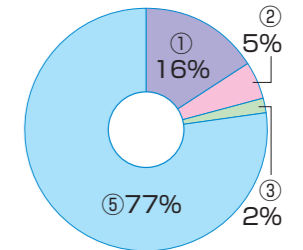


- ▶ 紙ラベルで留める簡易包装・リサイクル原料の使用。
- ▶ 原料投入から最終製品化まで自動連続生産を行い省エネルギー化。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(kg-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	29%	8%	1%	0%	62%	1.40kg

株式会社 岩井化成

事業者名	株式会社 岩井化成	
対象製品名	ごみ袋 農ポリリサイクル製品「農強ダストバック」	最終製品
PCR名称・番号	プラスチック製容器包装	PA-BC-02
製品の概要 (検証：2010年度)	45Lサイズ0.03mm×650mm×800mm 10枚入り(内袋10枚 287g 外袋 4.5g)	



- ▶ 使用済みの農業用ポリエチレンを再生原料にして使用したゴミ袋です。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(kg-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	16%	5%	2%	0%	77%	1.12kg

2. 生活用品



事業者名	ITWハイコーン・ジャパン株式会社		①	54%
対象製品名	ハイコーンマルチパック(中間財)	中間財	②	
PCR名称・番号	プラスチック製容器包装	PA-BC-02	③	
製品の概要 (検証: 2010年度)	1枚あたり3.04g(ハイコーンキャリア2.95g+ラベル0.09g)、1パレットあたり273.6kg、112mm×224mm、缶入り飲料(ビール/清涼飲料水)を複数マルチパックするポリエチレン製包装資材。算定単位: 1パレット(9万枚)		④	
			⑤	46%



CO₂: 19.6g
(原材料調達段階および廃棄・リサイクル段階)

カーボンフットプリント試行事業
キャリア1枚あたり
<http://www.cfp-japan.jp>
検証番号: CV-BC02-028

ハイコーンマルチパックは、最小限の資材使用(ミニ)で、最大限の効果(マックス)を実現できる包装資材として、世界各国で幅広く普及しており、今回、日本のカーボンフットプリント制度でも、その環境負荷の少なさが確認されました。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(t-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	54%	—	—	—	46%	1.76t

大倉工業株式会社

事業者名	大倉工業株式会社		①	75%
対象製品名	GPEミクロンロール	中間財	②	
PCR名称・番号	プラスチック製容器包装	PA-BC-02	③	
製品の概要 (検証: 2010年度)	植物由来ポリエチレンを主原料(60%)としたマシン目付きロール巻き極薄強化ポリ袋です。		④	
			⑤	25%



CO₂: 7.31kg
(原材料調達段階および廃棄リサイクル段階)

カーボンフットプリント試行事業
<http://www.cfp-japan.jp>
検証番号: CV-BC02-022

植物由来ポリエチレンを主原料(60%)としています。
当社石油由来樹脂100%製品と比べ、22.3%(2.10kg)のCO₂を削減しています。

〈カーボンニュートラル〉
▶ バイオマス原料(植物由来ポリエチレン)を使用することで、廃棄時のCO₂発生量を低減しています。

〈サステナビリティ〉
▶ バイオマス原料を使用することで化石資源を節約しています。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(kg-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	75%	—	—	—	25%	7.31kg

DNP

事業者名	大日本印刷株式会社		①	73%
対象製品名	ビューベルカップ・エアー	中間財	②	
PCR名称・番号	プラスチック製容器包装	PA-BC-02	③	
製品の概要 (検証: 2011年度)	・飲料用のプラスチックカップ(フタ、付属品等を含みません) ・1個あたり重量: 9.84g ・1段ボールケース(816個)あたりを算定・表示しています。		④	
			⑤	27%



CO₂: 60.3kg (1ケースあたり)
(原材料調達段階と廃棄リサイクル段階)

CO₂の「見える化」
カーボンフットプリント
<http://www.cfp-japan.jp>
検証番号: CV-BC02-029

▶ 71mm口径、250cc容量カップでは、業界最軽量の9.8gを達成。

▶ 従来製品より、プラスチックの使用量では45%削減。

▶ CFP(GHG排出量)では33%削減。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(kg-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	73%	—	—	—	27%	60.3kg

KODAMA

事業者名	コダマ樹脂工業株式会社		①	71%
対象製品名	ピュアボトル 4L KX-532	中間財	②	
PCR名称・番号	プラスチック製容器包装	PA-BC-02	③	
製品の概要 (検証: 2010年度)	仕様 サイズ φ168×高さ312mm、重量317g、容器4L、形状丸型		④	
			⑤	29%



CO₂: 2.19kg
(原材料調達段階および廃棄・リサイクル段階)

カーボンフットプリント試行事業
<http://www.cfp-japan.jp>
検証番号: CV-BC02-030

当社は、

▶ CO₂排出量を「見える化」することで、削減効率の高いポイントを把握する。

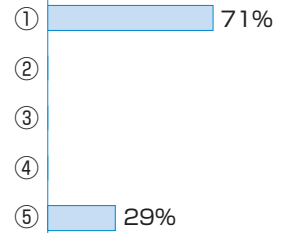
▶ 環境負荷低減活動に積極的に取り組み、お客様の信頼を得る事を目的にCFPIに取り組んできました。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(kg-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	71%	—	—	—	29%	2.19kg

2. 生活用品

中央化学株式会社

事業者名	中央化学株式会社	
対象製品名	みやま20-12 (食品包装用トレー)	中間財
PCR名称・番号	プラスチック製容器包装	PA-BC-02
製品の概要 (検証：2011年度)	主原料：PSPシート(発泡ポリスチレンペーパー)／色：白製品サイズ：縦124mm×横198mm×高さ60mm／製品(1枚)重量：4.43g CFP算定単位：販売単位=1ケース／入り数1,200枚(50枚入り小袋×24袋) ケースサイズ：縦90cm×横50cm×高さ60cm／ケース重量：7.15kg(含包装資材)	



CO₂: 41.2kg
 原材料調達段階 (容器包装の原材料調達・
 製造・輸送段階) と廃棄リサイクル段階
 (容器包装の廃棄・リサイクル段階)

CO₂の「見える化」
 カーボンフットプリント
<http://www.cfp-japan.jp>
 検証番号：CV-BC02-031

▶ 当社製品を使っていただく事業者を通じて、消費者の皆様のご要望に迅速に対応できるよう、CO₂の見える化の仕組みづくりに取り組んでいます。

プロセス名	① 原材料調達	② 生産	③ 流通	④ 使用・維持管理	⑤ 廃棄・リサイクル	合計(kg-CO ₂ /製品)
CO ₂ 排出量割合	71%	—	—	—	29%	41.2kg